

2021 年度



神奈川県が多文化共生について 学んでみませんか？



- ①大学への財団職員派遣
- ②大学のゼミやサークルなどの受け入れ

神奈川県には現在、173の国と地域出身の約23万人の外国人の方々が住んでいます。
また、神奈川県は1970年代にいわゆる「民際外交」を全国で初めて取り組み始めた県としても知られ、多様な文化が共存する国際色豊かな地域として、多文化共生に向けた取り組みが活発です。

かながわ国際交流財団はその活動の一翼を担っており、これから多文化共生を担う大学生をはじめとする青少年の育成についても取り組んでいます。

内容

本プログラムは、大学生のみなさんが、神奈川県が多文化共生について学ぶ機会を提供するプログラムです。

具体的な内容は、お申し込み後の打合せを経て決めます。例えば、次のような疑問や各地域で外国人住民が直面する課題について学ぶことができます。

Q. 神奈川県は外国人住民が多いことで知られているが、どのような課題に直面しているか？また、行政はどのような施策を行い、今後期待される取組は何か？

Q. 外国につながる子どもの数が年々増える中、外国人住民が日本での出産や子育てをする上で直面する課題や対策とは何か？

Q. 多文化共生に関する国と県の役割は何か？また、「中間組織」としての財団は、各自治体の国際交流団体や多様なアクターとどのように協働しているのか？

Q. 多文化共生の地域社会づくりに向けて、大学生としてできることや大学が取組むべきことは何か？



過去の実績

■ かながわ国際交流財団は下記を含む様々な研修講師を務めてきました。

(例)

<2017年度～2020年度>

- ・ 青山学院大学国際政治経済学部国際交流実務論「神奈川県国際交流かながわ国際交流財団の事例から」

<2019年度>

- ・ 神奈川県警察学校「外国人とのコミュニケーションについて」
- ・ 神奈川県中央児童相談所職員向け研修「神奈川の外国につながる子ども・家庭について」
- ・ 綾瀬市主任児童委員研修「どう支えますか、外国人ママ・パパの子育て」
- ・ 神奈川県総合教育センター「外国につながるのがある児童・生徒に対する教育と課題」
- ・ 精神医療機関の医師、看護師、職員、相談員、保健福祉事務所職員等向け研修「病院に外国人患者が来たらあなたはどのように対応しますか」

and more



※財団が作成した多言語資料を実際に閲覧することもできます！

募集要項

■対象

神奈川県内にキャンパスがある大学を優先

(募集締切後も募集枠がある場合、神奈川県内以外の大学からも応募可能)

■募集締切

2021年7月4日 (日)

(募集締切後も募集枠がある場合、受付可能な場合がありますので、お問合せ下さい)

■実施方法

次のうち、どちらかを選択

①大学への財団職員派遣

②大学のゼミやサークルなどの受け入れ

(オンラインでの実施の場合、人数の上限はありませんが、財団事務所への訪問などオフラインの場合は、上限10名程度となります)

■実施時期

依頼内容に合わせて年間を通じて実施

■実施場所及び形式

①大学またはかながわ県民センター等にて対面で実施

②オンライン・オンデマンドの形式で実施

■募集件数

年間8件程度

■費用

原則、1時間あたり1万円(税・交通費込)

(ただし、ご予算に応じて柔軟に対応致しますので、お気軽にご相談ください)

申込み方法

必要事項をご記入の上、下記連絡先にメールでお申し込み頂くか、下記フォームよりお申し込みください。なお、メールの件名は「大学向けプログラム申込み」としてください。お申し込み後、担当者よりご連絡します。

<記入必須事項>

■申込者のお名前

■ご所属

■ご連絡先E-mailアドレス

■ご希望のプログラム(下記①もしくは②のどちらかを選択)

①大学への職員派遣

②大学のゼミやサークルなどの受け入れ

※ プログラムに関する具体的なご希望内容(どのようなお話を特にお聞きになりたいか、どのような講師をご希望かなど、具体的にお書きください。)

<連絡先>

(公財) かながわ国際交流財団E-mail: haken@kifjp.org

<フォームでの申し込み>

https://willap.jp/p/acc_4614/daigaku_program/

